ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧

所属	役職	氏 名	令和元年度の3 Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
DI 店	以明	Д	外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	7 和 2 平及の 3 R に同じた 1 知日保
山形県環境保全協議会	会長	鈴木喜代壽	1 当協議会総会(6月5日)後の企業等交流会(懇親会)で参加者60名に対して、30・10(さんまるいちまる)運動を呼びかけた。 2 やまがた環境展に出展。会員企業約200社へ出展依頼及び当日の参加を呼びかけた。 3 「プラスチックごみ問題に関するセミナー」を開催した。・12月12日 山形自治会館601号室(参加者61名)・基調講演「マイクロプラスチック汚染の現状、対策、国際動向」東京農工大学農学環境資源科学科教授高田秀重氏「プラスチックの資源循環及びバーゼル条約の改正について」環境省東北地方環境事務所資源循環課 ※ 別添資料① ○ ご提供いただいた、チラシ、ポスター、ポップを会員企業に提供した。	1 当協議会総会後の企業等交流会(懇親会)で、30・10(さんまるいちまる)運動を呼びかける。 2 やまがた環境展に出展する。会員企業に出展及び参加を呼び掛ける。
一般社団法人 山形県産業資源循環協会	会長	黒澤利宏	1 やまがた環境展で展示ブースを設置し、産業廃棄物処理工程パネルの展示、廃棄物全般についての環境クイズ、リサイクル自転車の来場者抽選会を行い、廃棄物に関する啓発を行った。また、リサイクル自転車を提供した。 2 県の市町村ごとに設置されている不法投棄防止対策協議会に助成するとともに、原状回復作業に専門部会員が協力した。 〇 やまがた環境展調整会議において、料理をおいしく食べきるため、2010運動を呼びかけ、食べ残しを出さないように努めた。	〇 令和元年度の活動を継続していく。

所属	役職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況 外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	令和2年度の3Rに向けた活動目標
山形県商工会議所連合会	常任理事	阿部英弥	1 コピー用紙や古紙などを分別し、リサイクル活動を行った。 2 女性会を中心に3010運動を呼びかけ、周知を行った。 また、2月5日~6日に行われた、東北ブロック会議の親睦会においても、東北六県各所の専務理事様へ呼びかけを行った。 3 商工会館にゴミ削減のポスターやパンフレットの掲示を行った。	〇 昨年の取組を引き続き実施する。
			○ 女性会を中心に3010運動を呼びかけ、周知を行った。 また、2月5日~6日に行われた、東北ブロック 会議の親睦会においても、東北六県各所の専務理事 様へ呼びかけを行った。	
山形県 J A 女性組織協議会	会長	有海栄子	1 食品ロスの削減に向け、「もったいない」を「ありがとう」に変えるフードドライブに取り組み、自宅で余っている食べられるけど捨ててしまう食品や使わない日用品の提供に協力した。 2 また、会議や研修会を行った際は、昼食時に箸を持参し、割り箸の使用を控える「マイ箸運動」に取り組んでいる。	1 引き続き、フードドライブに取り組んでいく予定。 2 節電による環境保全、防災について考える取り組みとして「88運動」(パチパチ運動)をはじめ、家庭レベルで取り組みやすい環境保全運動に取り組んでいく予定。
			〇 ポスターおよびチラシを各JA女性部に配付し、 キャンペーンを周知した。	
公益社団法人日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会	会 長	奥山恵治	1 3 Rに関する事業を開催(ブロック大会等) 2 各地青年会議所(17青年会議所)で、ごみ削減運動の推進 1 新年会並びに親睦会等で3010運動の呼びかけ	〇 ごみ削減運動の推進(継続)
			2 食べ残しを無くすために注文数を減らしている	

所属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
山形県電機商業組合	専務理事	川口正男	 外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容 1 省エネ家電マーケットモデル事業があり、エアコン・冷蔵庫のリサイクルが多かったため家電リサイクル法の推進を図った。 2 組合事務局では、裏紙の利用とFAX用紙の出力削減。 3 食事の伴う理事会及び役員会では、食品ロス削減を目指し3010運動を推進。 4 地域電器店ではお客様へのレジ袋の使用を控えた。 〇 理事会及び新春歌詞交歓会の時、3010運動を呼び 	3 食品ロス削減を目指し、3010運動を推進
やまがた女将会	理事	工藤真理	かけた。 各旅館、一部旅館での取り組み例 1 宴会時の幹事様への呼びかけのお願い 2 量より質の献立の検討 3 ペーパーにおける歓迎看板の廃止 4 割り箸の廃止 5 売店包装の有無の伺いで包装無を促す	1 使い捨てのものの使用の検討 2 宴会時の3010運動の呼びかけ 3 資源リサイクルの活用(古紙、ダンボール、油等) 4 廃棄食品の軽減へ取り組む(売店食品や食材在庫の少量化)
一般社団法人山形県建設業協会	会長	澁 谷 忠 昌	1 会員企業や支部青年部による道路・河川の美化活動を実施している。 2 会員企業や支部への案内や通知等は、ほぼ全てメールで配信しペーパーレス化している。 3 会員企業においては、情報共有システムを用いて受発注者間の書類の簡素化、電子化に努めている。 4 美しい山形・最上川フォーラムの会員として年会費を納め、行政、市民による県内河川の美化活動を支援している。	〇 引き続き令和元年度の事業を実施する予定。

所属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
山形県再生資源商工組合	事務局	庄司里沙	外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容1 定時総会時の会食事前オーダー2 会議資料の一部簡略化に伴うコピー用紙の削減3 シュレッダー処理の見直し声掛け4 各取引企業への廃棄物分別指導〇 各懇親会での食べ残しをしないように声掛けをしている。	〇 令和元年度の事業を継続
山形県環境整備事業協同組合	理事長	丹 野 善 将	1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2 宴会時の食べきり運動(3010運動)の呼びかけ 3 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 役員会の新年会において、3010運動の呼びかけと テーブルに運動PRの三角柱を置いて食べ残しを出 さないように努めた。	1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2 宴会時の食べ切り運動(3010運動)の呼びかけ 3 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 4 災害時体制の構築 山形県との「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協 定書」に基づき、被災市町村及び関係団体と連携し、 災害廃棄物処理体制を構築する。
公益社団法人 山形県食品衛生協会	会 長	長谷川正芳	1 食品衛生責任者養成講習会において、公衆衛生学の講義の中でごみ削減等について、理解を求めた。 2 「もったいない山形協力店」について、食品衛生責任者養成講習会、山形県食品衛生推進大会、指導員の会議等において、協力店登録についてのPR、情報提供を行った。	1 食品衛生責任者養成講習会の公衆衛生学の講義の中でごみ削減等について理解を求めていく予定である。 2 「もったいない山形協力店」について、食品衛生責任者養成講習会等の機会を捉えて、協力店登録についてのPR、情報提供を行う予定である。
			(協会での会食実績なし)	

所属	役 職	氏 名	令和元年度の3 Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
DI 店	1文 収		外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	7742年度の5人に同りたわ刻口伝
山形県商工会女性部連合会	会長	原田周子		〇 各女性部で継続してエコ活動に取り組んでいく 予定。
山形県工業会	会長	松村英一	 1 印刷済みの用紙や古紙等を分別回収し、リサイクル活動に努めている。また、ゴミの分別も行い、ゴミ削減活動も行っている。 1 メールにてキャンペーンの周知を行った。 2 料理を提供する会議において、参加者数に応じた料理提供料を調整することで食べ残しを減らすよう努めた。 	〇 引き続き、令和元年度の活動を周知徹底していきたい。

. 문	所属 役	役職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標	
川 偶	1文	垹	人	外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	う 〒和2年度の3Rに向けた活動日標	
山形県連合小学校長会	理	事	岡村 廣	県内各校における活動状況は以下のとおり 1 資源回収等リサイクル運動 2 保護者・児童への啓発活動 3 給食の食べ切り、残飯を少なくする運動 4 飲食を伴う会合等における3010運動の推奨 5 印刷物のリサイクル	〇 令和元年度同様、各小学校における3Rを推進 する。	
				○ 各校の忘年会・新年会及び役員会の忘年会・新年会において、3010運動を呼びかけ、食べ残しを出さないように努めた。		
山形県中学校長会	会	員	有路智子	県内各校におけるエコ活動の推進では、以下のような取り組みを行った。 1 印刷物のリユースとリサイクル (裏紙の活用 → 資源回収へ) 2 会議資料のペーパーレス化 3 コピー枚数の制限 4 資源回収等リサイクル運動(牛乳パック、エコキャップ、アルミ缶、故紙、ビンなど) 5 給食の残菜、残飯を減らす運動 給食時の牛乳を飲むときはストローを使用しない 6 広告チラシでのゴミ箱作り 古タオルを使っての雑巾づくり ※ 別添資料③ ○ 飲食を伴う会合での3010運動の実施及び推奨を行った。	〇 令和2年度も元年度と同様に各中学校におけるエコ活動の推進を行う。	

所属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	
山形県消費生活団体連絡 協議会	会長	石塚久子	 県内の各団体(単会)における取組み 1 廃油の利用(石けん作り、キャンドル作り) 2 生ごみのたい肥化、ボカシ等の作り方講習会 3 ダンボールコンポストで生ごみ処理講習会への参加 4 リフォーム教室(古布の利用)、ストラップ、マイ箸入れ、のれん作り、牛乳パックの再利用 5 ペットボトルキャップ回収(ワクチンに変える) 6 フリーマーケット、バザー開催、参加 7 ごみゼロやまがた県民運動キャンペーンに参加(県内4つの大型店舗でチラシ等配布) 	○ 令和2年度も引き続き、3R活動を実施する。
			○ 各単会役員会の折、新年会の折にできるだけ食べ 残しをしないように呼びかけた。	
公募		伊藤智英	1 フードドライブを行い、ご家庭や企業で余っている食品を集めた。 平成31年度(2019年4月~2020年1月)の実績は、5,911kg ※ 別添資料④ 2 県JA女性組織協議会様と共にフードドライブ実施。通算5回目。 平成31年度実績 2,267kg。 3 県環境展にて、フードドライブとフードバンク活動の広報活動を行った。 フードドライブの実績54.3kgです。 4 県食品ロス削減シンポジウムにて事例発表。 5 子供服などをメール等で呼びかけ、リユースできるように行った。 6 フードドライブを行う、企業や団体が増えている。また自治体で初めて置賜総合支庁様で実施。 7 個人では、エコバックの持参、食品トレーや段ボール等をリサイクル回収へ入れる、消費期限での消費を意識し、食品を無駄にしない。 〇 外食時に食べきれる量を注文した。大人数の場合には、出席者に応じ美味しく食べきれる量の注文とお店をチョイスした。	1 食品ロス削減法案により、令和2年度は食品ロス削減に対する意識が高まると思います。フードバンクとして要望に対応できるように、関係各所と連携しながら活動を行う。 2 フードドライブ及びフードドライブボックスの設置を推進する。 3 講演にて、食品ロス問題について多くの方に取り組んでいただけるように啓発する。 4 できる限りごみにせず、有効活用できるようにする。

所属	役 職	氏 名	令和元年度の3 Rに向けた活動状況	令和2年度の3尺に向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	
山形県保育協議会	副会長	岡 崎 恵 子	1 総会や会議等において会員園にはペーパーレスに取り組んでいただくようお願いした。2 給食は自園調理の強みを活かして、残菜を出さない工夫をしていただくようお願いした。3 保護者に向けては、マイバック持参や生ゴミの水切り等、毎日の生活の中でできることを呼びかけていただくようお願いした。	し、ごみをださないよう工夫していただくようお願いする。 2 各園の保護者を対象に、保育園からごみ削減につ
			○ 各園で行う、忘年会や会食会等において3010運動を呼びかけていただき、食べ残しを出さないよう努めていただいた。	
NPO法人環境ネットやまがた	主任	河合麻衣	1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環として以下の取組みを継続的に行った。 ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減 2 当法人通常総会後に行われる懇親会で3010運動を呼びかけた(5月25日) 3 近くの河川の清掃活動を行った。(10月7日) 4 イベントには給水器を持参し、ペットボトルの配布を控えた。 ※ 別添資料⑤ ○ 環境ネットやまがたの忘年会で、3010運動及び、食べ残しを出さないように呼び掛けた。 ご提供いただいた、チラシ、ポップ、ポスターを掲示した。	 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環として、引き続き・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。コピー枚数の削減に努める。 2 懇親会などでは3010運動を呼びかける。 3 イベントには給水器を持参し、ペットボトル等の配布を控える。

所属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
山形県PTA連合会	母親 委員長	髙見佳澄	外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容 日親委員会、理事会等において、3010運動や食品 ロス削減について「ごみゼロやまがた推進県民会議」で話されたことを伝えた。	〇 パンフレット等による周知
			○ 懇親会のおり、3010運動を呼びかけ、席に座って しっかり食べるよう呼びかけた。	
山形県保健環境活動団体連合会	会長	西田忠一	 ※ 各市町村衛生組織活動例 1 生ごみ処理機購入補助 2 不法投棄防止活動 3 リユース食器利用推進事業 4 木材リユース事業 5 空缶散乱防止運動 6 EMボカシづくり講習会 7 粗大ゴミ回収斡旋事業 8 小型家電リサイクル事業 9 環境ポスターコンクール実施 10 廃タイヤ回収事業 11 資源回収奨励金交付事業 12 ごみステーション・リサイクルステーションの新設・修繕 	○ 環境保全の面から「ごみゼロやまがた」実現に向け、3 Rの考え方に基づく諸実践活動を推進するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に向けた浄化槽の普及推進や適正な維持管理、水環境の保全活動、不法投棄防止活動並びに漂流・漂着ごみ対策等循環型社会の構築に向けた運動を引き続き展開する。

所属	役職	氏 名	令和元年度の3 Rに向けた活動状況 外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	ŕ	令和2年度の3Rに向けた活動目標
NPO法人 みらい子育てネット山形	副理事長	細谷由紀	1 総会時、参加者にリーフレットを用いて生ごみの水切りや分別、3Rの推進、食品ロス削減に対する呼びかけを行った。 2 会報にコーナーを設け、ごみゼロについての広報を行った。 3 ボランティア等でエコ工作を行い、3Rについて親子で理解を深めてもらえるようにした。 4 ドイツ交流員をお迎えし、ドイツのごみゼロの取り組みや子育て環境、料理などを学ぶ、ごみゼロ推進講座を開催した。 ※ 別添資料⑥ ○ 宴会時の3010運動の声かけ、冷蔵庫点検の3010運動についても説明をし、理解を求めた。	〇 前年	度と同様の活動を継続していく。

所属	役 職 氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況 外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	令和2年度の3Rに向けた活動目標
山形市	環境部長松田和	1 資源回収推進事業によりごみ減量と再資源化を図った。 2 生ごみ処理機購入に対する補助を実施し、生ごみの減量化及び堆肥化を促進した。 3 「生ごみやさいクル事業」により、乾燥式生ごみ処理機で乾燥し資源(肥料)化した生成物の循環利用とごみの減量を推進した。 4 雑がみ回収広報袋を作成・配布した他、事業者、市民団体と連携した「雑がみリサイクルキャンペーン」の実施、資源物引取事業所の周知により、紙類布類の再資源化を推進した。 5 事業所から排出される古紙類再資源化の取組みについて広報を行った。 6 事業者、市民団体と連携して「食品トレーリサイクルキャンペーン」を実施し、店頭回収の利用を呼びかけた。 7 小型家雷川サイクル事業により、使用済小型家舗	〇 令和元年度と同様の活動を継続

所属	役職	氏 名	令和元年度の3 Rに向けた活動状況 外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	令和2年度の3Rに向けた活動目標
(山形市)			1 広報誌(12月1日号)に、宴会における30・10 運動について掲載し、運動の実践を呼び掛けた。 2 山形市職員に対して、忘新年会における30・10 運動の実践と家族・友人・知人等への「30・10運動」 のPRを呼び掛けた。	
公募		横尾知子	 ≪個人として≫ 1 家庭生ゴミは、生ゴミ処理機の利用を継続し、家庭菜園の肥料で活用している。 2 買い物に出掛ける前に、冷蔵庫の中をチェックして、必要な物だけ買うように心がけている。 3 リサイクル出来る物は、分別を徹底し、買い物の都度、持参して回収ボックス等を利用している。 ≪事業所として≫ 1 車の消耗品以外の部品交換、修理はリサイクル部品を推奨している。 2 社内でも分別を徹底し、ゴミ削減の為、電子化を促進している。 3 自社の車も電気自動車で、CO2排出量削減を継続して行う。 1 会合、親睦会等で飲食の前に「3010運動」の紹介、呼びかけをした。 2 バイキング形式の食事の際、学生達に最初から皿に取り過ぎず、食べきれる量を取り、自分の皿に食べ残しをしないよう声がけをした。 	菜が収穫出来るようにしたい。 2 買物をする際、必要のない物は買わない、もらわないを心がけている。 3 使わなくなった物は、リサイクルショップなどを利用して、ゴミを出さないようにしたい。 ≪事業所として≫ 1 来客用テーブルにリーフレット、壁にポスターを貼り、引き続き推奨していきたい。